

平成 28 年度 (27年分所得) 市民税・県民税 (個人住民税) 申告書

28年1月1日の住所	狭山市		
現住所			
フリガナ		生年月日	明・大・昭・平 年 月 日
氏名	㊦	生年月日	年 月 日
職業	世帯主	世帯主との続柄	
電話番号	- -		

狭山市長 付 印	受付	担当	確認	スキャナーのみ
				増・減・同・非・新
	入力日		年 月 日	
	期別	普 期	特 月	
整理番号		別添資料	有 (源泉・BOX) 無	

③所得から差し引かれる金額に関する事項

⑩ 雑損控除	損害の原因	損害年月日	損害を受けた資産の種類				
	A 損害金額	B 保険金などで補てんされる金額	G 差引損失額のうち災害関連支出の金額				
	円	円	円				
⑪ 医療費控除	A 支払った医療費	B 保険金などで補てんされる金額	C 差引負担額				
	円	円	円				
⑫ 社会保険料控除	A 国民健康保険	円	B 国民年金	円			
	C 介護保険	円	D 後期高齢者医療保険	円			
	E その他	円	合計 A+B+C+D+E	円			
	⑬ 小規模企業共済等掛金控除						
	円						
⑭ 生命保険料控除	A 新生命保険料の計		B 旧生命保険料の計				
	㉖	円	㉗	円			
	C 新個人年金保険料の計		D 旧個人年金保険料の計				
	㉘	円	㉙	円			
	E 介護医療保険料の計						
㉚	円						
⑮ 地震保険料控除	A 地震保険料の計		B 旧長期損害保険料の計				
	円		㉛ 円				
⑯～⑰ 寡婦(寡夫)控除 勤労学生控除	⑯ <input type="checkbox"/> 寡婦(寡夫)控除 (<input type="checkbox"/> 死別 <input type="checkbox"/> 離婚 <input type="checkbox"/> 生死不明 <input type="checkbox"/> 未帰還)		⑰ <input type="checkbox"/> 勤労学生控除 (学校名)				
⑱ 障害者控除	氏名	障害の程度	身・療・精	級度			
	氏名	障害の程度	身・療・精	級度			
⑲～⑳ 配偶者控除・配偶者特別控除	配偶者の氏名	A 配偶者の合計所得金額					
	生年月日	明・大・昭・平	㉜ 円				
㉑ 扶養控除	氏名	生年月日	16歳未満	同居・別居	続柄	控除額	
		明・大・昭・平		<input type="checkbox"/> 同居 <input type="checkbox"/> 別居		万円	
		明・大・昭・平		<input type="checkbox"/> 同居 <input type="checkbox"/> 別居		万円	
		明・大・昭・平		<input type="checkbox"/> 同居 <input type="checkbox"/> 別居		万円	
		明・大・昭・平		<input type="checkbox"/> 同居 <input type="checkbox"/> 別居		万円	
別居の扶養親族等がある場合には、裏面㉔に氏名及び住所を記入してください。						扶養控除額の合計	万円

⑤ 給与・公的年金等に係る所得以外(平成28年4月1日において65歳未満の方は給与所得以外)の所得に係る市民税・県民税の納税方法

給与から差引き(特別徴収) 自分で納付(普通徴収)

⑥寄附金控除に関する事項

寄附先	寄附先の名称・所在地	寄附金の合計額
A 都道府県・市区町村		㉝ 円
B 埼玉県共同募金会・日赤埼玉支部		㉞ 円
C 埼玉県の条例で指定された事業所		㉟ 円
D 狭山市の条例で指定された事業所		㊱ 円

裏面にも記入する欄がありますのでご注意ください。

種類	原票種	次年送付	要件	扶養	扶養障害	控除	配	未成年	本	障	寡	寡	勤	年
①	⑧	1	特	同	老	他	同	特	特	普	有	老	年	
			C	X	N	O	P	R	K	W	S			
均等割	青白区分	配本他	専従者給与		整理番号									
家	青白青特	配本他												
1	1 2 3	1 2												

収入金額等	所得金額	所得から差し引かれる金額	収入金額等		所得金額		所得から差し引かれる金額	
			雑	合計	雑	合計	雑	合計
① 事業等	ア		①		①			
② 農業	イ		②		②			
③ 不動産	ウ		③		③			
④ 利子	エ		④		④			
⑤ 配当	オ		⑤		⑤			
⑥ 給与	カ		⑥		⑥			
⑦ 公的年金等	キ		⑩		⑩			
⑧ その他	ク		④⑨		④⑨			
⑨ 総合譲渡	ケ		⑦		⑦			
⑩ 短期	⑮		⑧		⑧			
⑪ 長期	⑯							
⑫ 一時	⑰							
⑬ 雑損控除	⑩		⑩		⑩			
⑭ 医療費控除	⑪		⑪		⑪			
⑮ 社会保険料控除	⑫		⑫		⑫			
⑯ 小規模企業共済等掛金控除	⑬		⑬		⑬			
⑰ 生命保険料控除	⑭		⑭		⑭			
⑱ 地震保険料控除	⑮		⑮		⑮			
㉒ 寡婦(寡夫)控除	⑯		⑯		⑯			
㉓ 勤労学生・障害者控除	⑰～⑱		⑰～⑱		⑰～⑱			
㉔ 配偶者控除	⑲		⑲		⑲			
㉕ 配偶者特別控除	⑳		⑳		⑳			
㉖ 扶養控除	㉑		㉑		㉑			
㉗ 基礎控除	㉒	330,000	㉒		㉒			
合計	㉓		㉓		㉓			

居住年月日 平 . . 住宅特定取得以外

⑦給与所得の内訳

(日給などの給与所得のある人で、源泉徴収票のない人は記入してください。)

月	日	給	勤務日数	月	収
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
賞 与 等					円
合 計					円
勤務先所在地					
勤 務 先 名					
電 話 番 号					

⑧所得の内訳(給与・公的年金等)

所得の種類	支 払 者	収 入 金 額
給与・公的年金等		円
給与・公的年金等		円
給与・公的年金等		円

⑨事業・不動産所得に関する事項 (A - B = 所得金額)

所得の種類	所得の生ずる場所(支払者)	収入金額(A)	必要経費(B)	青色申告特別控除額
		円	円	円
		円	円	円

⑩配当所得に関する事項 (A - B = 所得金額)

配当所得の種類	支 払 者	支払確定年月	収入金額(A)	必要経費(B)
		.	円	円
		.	円	円
			国外株式等に係る外国所得税額	円

⑪雑所得(公的年金等以外)に関する事項 (A - B = 所得金額)

種 目	支 払 者	収 入 金 額 (A)	必 要 経 費 (B)
		円	円
		円	円

⑫事業専従者に関する事項

氏 名	続 柄	生 年 月 日	従事月数	専従者給与(控除)額
		.		円
		.		円
所得税における青色申告の承認の有無		あり・なし	合計額	円

⑬総合譲渡・一時所得の所得金額に関する事項

区 分		収 入 金 額	必 要 経 費	差 引 金 額 (収入金額 - 必要経費)	特 別 控 除 額	所 得 金 額 (差引金額 - 特別控除額)
総合譲渡	短 期	円	円	円	円	イ 円
	長 期	円	円	円	円	ロ 円
一 時		円	円	円	円	ハ 円
合計 イ + [(ロ + ハ) × 1 / 2]						ニ 円

右上のイの金額を表面の⑤に、ロの金額を表面の⑦に、ハの金額を表面の⑨に記入してください。右のニの金額を表面の⑧の所得金額欄へ記入してください。

⑭別居の扶養親族等に関する事項

氏 名	住 所

⑮配当割額または株式等譲渡所得割額の控除に関する事項

特定配当等に係る所得金額、特定株式等譲渡所得金額を総所得金額に含め、配当割額または株式等譲渡所得割額の控除を受けようとする場合は、下の各欄に配当割額及び株式等譲渡所得割額を書き入れてください。

配 当 割 額 控 除 額	円
株 式 等 譲 渡 所 得 割 額 控 除 額	円

⑯家屋敷などに関する事項

所 在 地		
利用形態	前年中の所得金額 (分離譲渡所得の場合は特別控除前の金額)	円
<input type="checkbox"/> 事務所	該当する場合は○をつけてください	扶養人数
<input type="checkbox"/> 事業所		
<input type="checkbox"/> 家屋敷	障害者・寡婦(夫)・未成年	人

⑰事業税に関する事項

非課税所得など	番号	所得金額	円
損益通算の特例適用前の不動産所得			円
事業用資産の譲渡損失など	資産の種類	損失額・被災損失額(白)	
前年中の開(廃)業	開始・廃止	年	月
<input type="checkbox"/> 他都道府県の事務所等			

⑱所得がなかった人の記載欄

- 下記の人から扶養・仕送りを受けていた。
 - 住 所 _____
 - 氏 名 _____ 続 柄 _____
 - 生年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日
 - ※上記の人が単身赴任または海外出張の場合
 - 勤 務 先 名 _____
 - 赴任先住所 _____
- 学生の場合
 - 学校名 _____ 年在学中 _____
- 生活状況等を記入してください。
 - 雇用(失業)保険・労災保険等を受給していた。年間受給額 _____ 円
 - 遺族年金・障害年金等を受給していた。年間受給額 _____ 円
 - 生活保護法による生活扶助を受けていた。
 - 病気療養中(通院・入院)
 - 預貯金等で生活
- その他 _____

「源泉徴収票をホチキスで留めてください。」